

附属機関等会議録

令和6年1月19日

会議の名称	令和5年度 第3回島田市中心小企業・小規模企業 振興推進会議
開催日時	13時15分から 令和6年1月12日（金） 14時30分まで
開催場所	島田市役所 大会議室東
会議の議題	1 説明及び意見交換 （事務局説明：令和6年度の取組の具体案） (1) 雇用実態調査の実施について (2) 市内高校生の就職実態調査の実施について (3) 会社紹介動画の作成・活用について (4) 親子で会社見学の開催について
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	公開
公開の場合の傍聴人の数	3人
出席者の氏名等	別添資料のとおり
会議の結果	<p>今回の会議は、前回に引き続き人材確保・人材育成について議題とした。その実現のための具体案を提示し、方向性に関して議論を深めた。</p> <p>最初に会長から、振興条例に沿った各委員の責務（各団体選出された委員）を再確認して、各団体の役割を踏まえた意見を示すよう指示があった。</p> <p>事務局から人材確保・人材育成に関する具体的な案について一つずつ説明して、各委員から意見を伺った。</p> <p>(1) 雇用実態調査の実施について ・ 就職者が何を求めているかも把握すべき（(2)の市</p>

内高校生の就職実態調査と連動すべき)

- ・賃金の推移といった、令和元年度に実施した「島田市中小企業・小規模企業実態調査」に含まれていない項目も調査すべき。

(2) 市内高校生の就職実態調査についても含めて、以下議論された。

- ・(2)の就職実態調査をまとめてから、(1)の雇用実態調査を実施していくのは時期的に難しいのでは？

→高校生の就職が決まっていくのは夏過ぎぐらいなので、それまでに調査を行う必要がある。できるだけ早く着手しなければならない。

- ・賃金UPや価格転嫁はできているのか、DX化、カーボンニュートラルなど企業が抱える課題を幅広く聞けばいいのではないか。

→予算がつかない場合、職員の力で実施していくことも考えている。

- ・離職率は大きな課題。やめた人の理由を知る必要があるのではないか。

- ・雇用実態調査に関して、高校生だけでなく、大学生、中途採用、さらには外国人も含めて調査すべきである。

- ・小売りでは求人している様子は少ない。製造業・建設業は不足していると聞くが、どこまで不足しているのか。

→第4回会議でさらに詳細を示すこととした。

- ・特に高校生について、県外就職は比較的ハードルが高く、比較的「近い」ことが会社選択として優先される模様である。

(3) 会社紹介動画の作成・活用について

- ・スキームとしては、動画作成とセミナーの2本立てである。動画作成について、一定の額を企業に負担していただき、それを支援する形で良いのではないか。

→産業ポータルサイトへの動画掲載は可能なので、積極的に活用してほしい。

- ・SNS全盛の時代に、動画にターゲットを当てることは賛成。そのほか、島田駅の広告看板活用も

	<p>考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージも活用すべき。 ・人材確保につなげるためには、高校生・大学生に対しての発信手段を考えなくてはならない。 <p>(4) 親子で会社見学の開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生が対象では人数確保が難しい。中学生が親と一緒にいくのか疑問である。 ・子どもが仕事を決めるのに、親の判断が大きく影響する。親に実態を感じてもらう必要がある。 ・親のみ、中学生のみの見学会も検討の余地があるのでは。 <p>以上の意見をいただき、会議を終了した。</p> <p>次回、第4回会議（2月中旬から2月下旬に開催予定）では、いただいた意見をもとに再度具体案を練り直し、詳細を詰めた形で提示することとする。</p>
提出された資料等	別添資料のとおり
会議を所管する課の名称	産業経済部 商工課
その他必要な事項	